

各位

インドネシア投資省（BKPM）投資促進政策アドバイザー
JICA（国際協力機構）専門家・天谷浩之

目的：インドネシア政府構想・投資誘致プロジェクト

『インドネシア脂肪アミンの国産化プロジェクト』に関わる視察会へのご関心伺い
ー化学品メーカーのインドネシアでの新たなビジネス機会に関わるご案内ー

ご案内の背景：

インドネシア東カリマンタン州に開発中の新首都ヌサンタラでのパームオイルを原料とした脂肪アミンの生産に関する投資機会についてご案内させていただいております。インドネシア政府は現在、国家産業開発マスタープラン(2015-2035)にもとづき下記10産業を重点セクターに挙げ産業開発に取り組んでおります。

- 1.食品産業 2.医薬品・化粧品・医療機器産業 3.繊維、皮革、履物、その他産業
- 4.輸送機器産業 5.エレクトロニクス・テレマティクス・ICT産業
- 6.エネルギープラント産業 7.サービス産業 8.川上の農業
- 9.卑金属および非金属鉱物産業 10.石油・ガス・石炭化学産業

また、ご高承のとおり、インドネシアでは東カリマンタンへの2045年までの首都移転（新首都ヌサンタラ/IKN）に向け5段階のフェーズにもとづく都市開発に取り組んでおります。IKNは政府機能の移転だけでなく経済活動の移転も重視しており、Economic Superhubの実現に向け下記6つの経済クラスターの開発を掲げています。

- (1)低炭素エネルギー (2)再生可能エネルギーによる次世代産業 (3)統合医療
- (4)サステナブル農業 (5)エコツーリズム (6)先端化学関連

インドネシアでは急速な経済成長に伴う所得水準、生活水準の向上により消費材市場が拡大しています。その一方で、パーソナルケア製品、美容製品や柔軟仕上げ剤、さらには水処理、農薬、塗料、アスファルト添加剤等、多くの用途に使用される脂肪アミンは現状100%輸入に依存している状況です。インドネシア政府はこの状況を改善するために、上記重点セクター8、2の開発方針において、脂肪アミンの国産化に向けたパーム油加工産業の振興を喫緊の課題としています。

同課題解決に向けた取り組みとしてインドネシア政府は、インドネシアで最大のパーム油生産地であり新首都として開発中の東カリマンタンでの脂肪アミン開発プロジェクトを構想し、投資省(BKPM)が窓口となって本分野で競争力を持つ日本企業はじめ広く外国企業の投資を呼びかけ、外資の協力を得ながら資源分野における下流産業の振興と輸入代替産業の育成を図ろうとしております。

《プロジェクト名》

Fatty Amine Industry Project

《プロジェクトの目的》

脂肪アミンの国産化に向けたパーム油加工産業の振興を図ること

《プロジェクトサイト》

インドネシア東カリマンタン州ボンタン市（最寄り空港：サマリダ）

Kaltim Industrial Estate Bontang,

Guntung Sub-district, Bontang Utara District, Bontang City

《公募中の事業活動/インドネシア事業分類コード》

- ・農産物に由来する有機基礎化学産業/20115：外資 100%での参入可
- ・特殊化学品を生産する基礎有機化学産業/20118：外資 100%での参入可

プロジェクトサイト、生産容量、想定する市場規模、インフラ状況、投資価値分析等、インドネシア政府が実施した本プロジェクトの FS 情報が下記ウェブサイトに記載しておりますのでご一読いただけましたら幸いです。

<https://regionalinvestment.bkpm.go.id/pir/peluang-investasi/detail/?id=1311>

ご案内の趣旨（現地視察会へのご関心伺い）：

主としてインドネシアの国内市場を対象とした本プロジェクトに関する詳細情報の収集にご関心をお寄せいただける企業さまが複数おられるようでしたら、BKPM 主催にて現地視察会を企画したいと考えており、これにつきまして各社さまのご関心の程をお伺いいたしたくご案内させていただいた次第です。

視察会では BKPM からのプロジェクトの詳細説明はもちろん、本プロジェクト構想の背景、本プロジェクトに関わる産業セクターの現状とインドネシア政府による振興施策、本プロジェクトについてインドネシア政府が実施した市場調査の報告、本プロジェクトに参画した場合の各種インセンティブや事業実施にあたっての許認可の詳細、プロジェクト関連施設の視察、パームオイル供給企業などプロジェクト関係機関・企業とのネットワークキング、日本人駐在員を派遣する場合の生活環境の視察（医療機関、住居施設、教育施設（インターナショナルスクール）、商業施設、娯楽施設等）のプログラムを用意させていただき予定です。

さらに、同視察プログラムの一環として、工業省はじめインドネシア政府の協力を得て、本プロジェクトに参画される日本企業がいらした場合に当該企業との取引（バイヤー、サプライヤー、ディストリビューター、技術協力等）を希望する実績のあるインドネシア企業を選定し、当該企業らによるプレゼンテーション、名刺交換会を実施しながら本視察会参加企業の販路開拓等のお手伝いもさせていただきたいと考えております。

（視察会にご関心のある企業さま）

つきましては、当方で想定しております下記視察会スケジュール案をご参照のうえ、FS 活動の一環として本視察会へのご参加にご関心のある企業さま（業種は問いません）におかれましては 2024 年 5 月 31 日（金）までに JICA 専門家（天谷）宛にご連絡をいただけますと幸いです。視察会を企画させていただくことになりました場合はご連絡者さまに直接ご案内差し上げます。

ご連絡の際は、下記事項をご教示ください。

- ・ JICA 民連事業利用企業またはジャカルタジャパンクラブ会員企業である旨
- ・ 企業名・連絡者名・メールアドレス・ご関心のあるプロジェクト名（複数可）

（ご連絡先）

インドネシア投資省投資促進政策アドバイザー 天谷浩之

amaya.jica.bkpm@gmail.com

携帯電話：+62-(0)81119527174

視察会スケジュール（案）：

現状以下のようなスケジュールを想定しておりますが、実施前に他国を含む他の企業が投資への関心を表明し、インドネシア政府から追加のプロジェクトサイトの提供が無く本プロジェクトの公募が停止または終了した場合はその時点で本視察会の催行はキャンセルとさせていただきます。その場合、視察会実施予定日二週間前までにご連絡いたします。

《視察会実施時期》 2024 年 7 月上旬から 9 月下旬までの間

《渡航日程（想定）》

月曜/東京→ジャカルタ（日本や他国からご参加の場合）

火曜/午前：プロジェクト詳細説明(BKPM,工業省等) 於：ジャカルタ市内ホテル

午後：日本企業との取引を希望するインドネシア企業のプレゼンテーション

水曜/午前：ジャカルタ→サマリダ（空路移動）

午後：プロジェクトサイト視察第 1 日目 現地泊

木曜/終日：プロジェクトサイト視察第 2 日目 現地泊

金曜/午前：サマリダ→ジャカルタ（空路移動）

午前～午後：インドネシア政府との総括質疑応答 於：投資省庁舎

（日本からご参加の場合） 21:00～24:00 の便で日本へご帰国

経費（想定）：

（参加企業） 参加企業には下記の経費のご負担をお願いします。

航空券代：（国際線）日本や他国⇄ジャカルタ（日本や他国からご参加の場合）

（国内線）ジャカルタ⇄サマリダ空港

宿泊代：ジャカルタ滞在中の宿泊代（日本や他国からご参加の場合）

サマリダ滞在中の宿泊代

飲食代、その他：視察会参加時の飲食代、その他個別行動に伴う諸経費

(JICA)

会議室借料：カンファレンスルームの借料（於：ジャカルタ、サマリダ）

車両借上代：現地視察中の送迎車両の借料（於：ジャカルタ、サマリダ）

通訳者（日本語⇄尼語）備上代：於：ジャカルタ、サマリダ

以上